



自分が設計した建物がまちに残り、
学んだ知識を活かせる職場。

建築技術職 令和 6年度～ 公共建築課

垣内 菜摘 (かきうち なつみ)

現在の所属の業務内容と担当業務について教えてください。

現在所属する公共建築課では、倉敷市が管理する建物（学校・消防署・公園など）の計画から完成まで一連の業務を行っています。扱う建物は、公園便所の新築から古くなった学校の改修、消防署機庫の改修など多岐にわたり、担当となった物件の図面作成や積算、実際に現場に行き行って工事が正しく進んでいるかの確認を行います。

職種としての業務内容の詳細を教えてください。

担当となった物件の設計・積算・工事監理など、完工するまで一連の業務を行います。現在は、学校のトイレや外壁を改修する工事が多く、自分で CAD を用いて図面を作成し、どのように改修を行うか考えます。工事が始まってからは、実際に現場へ足を運び、図面通りに工事が進んでいるか確認をしたり、施工業者と打合せを行ったりします。建築に関する知識が幅広く必要になりますので、大変なことも多いですが、経験豊富な先輩職員に助けをもらいながら仕事を進めています。



入庁後の研修や業務と直結した研修はどのようなものがありましたか？

新採用職員向けのマナー講習や公務員としての心構えなどの研修に加え、技術職向けの研修や講習会も多くあります。技術職向けの講習では、他の部署がどのような業務を行っているかを知る良い機会になります。仕事を行う上で、建築に限らず幅広い知識が必要となりますので、こういった研修の体制が整っている環境はありがたく感じます。

転職の理由を教えてください。

転職者

大学卒業後は、ハウスメーカーで技術職として新築住宅の設計・工事監理などを行っていました。一生に一度の買い物となる住まいづくりの仕事にやりがいを感じていましたが、自分自身の環境の変化から、県外への転勤がなく安定して働くことができる市役所の仕事に興味を持ちました。また、地元である倉敷市の伝統ある町並みを誇りに感じており、そのまちづくりを担う一員となることに魅力を感じ、倉敷市を志望しました。

前職とのギャップで戸惑うことはありますか？

前職と比べて、扱う建物の種類が多いことにギャップを感じています。木造や鉄骨造、鉄筋コンクリート造など様々な建物を扱うため、幅広い建築の知識が必要になります。知識を身につけることは必要ですが、困ったことがあれば経験豊富な先輩職員が優しく教えてくださいますので、安心して働くことができます。

📩 就職活動中の皆さんにメッセージをお願いします。

将来の第一歩を決める就職活動は、とても大変かと思います。市役所での仕事は、自分の携わった建物がまちの一部として残り、実際に利用する方々の喜ぶ顔を見ることができるとてもやりがいのある仕事です。仕事内容は難しく感じるかもしれませんが、分からないことや困ったことがあれば経験豊富な先輩職員が優しく教えてくださいます。建築やまちづくりに興味のある方々、ぜひ一緒に倉敷市で働いてみませんか？